

## 先生になること

1. 動機
2. Aさんとの対話
  - 2-1 先生になろうとする理由
  - 2-2 職業としての先生
  - 2-3 理想的な先生
3. 結論
4. 終わりに

### 1. 動機

韓国の小学校では毎年「学生が将来になりたいこと」と「親が希望する職業」について調査することがある。私が1年生の時にはうちのお姉さんになりたかったし、2年生はパン屋さん、3年生はピアニストなど毎年変わったけど、お母さんはいつも先生だと書いた。お母さんがどうして先生だと書いたのかあの時は分からなかったし、私も先生になりたいという考えをしたことが一度もない。面白いのはいつの間にか希望職業に先生だと書いている私だった。本当の先生になりたかったのではなくて、何になりたいという考えさえしなかったかもしれない。韓国の中高生たちは勉強で忙しいから、敢えてなりたいことを言えば名門大学の学生だったかもしれない。

私は成績が良い学生ではなかった。韓国では先生になろうとすれば教育大学や師範大学を卒業して任用試験を合格すればこそ先生になることができる。学生時代の成績では無理だったと思ったし、私が先生になることはできないことだと思って、なろうと考えさえしなかった。しかし今は本当に先生になりたくて勉強をしている。どうして先生になろうと思うのか。

韓国で1年前ごろある新聞で「結婚したい女性の職業」という記事があった。その記事によると1位きれいな先生、2位 平凡な先生、3位醜い先生と他の答えで1位きれいな先生、2位離婚したきれいな先生、3位離婚した平凡な先生だった。本当のアンケートではなくてそれほど先生という職業が人気があるという内容だった。

韓国では先生は自分の職業としても結婚相対の職業としてもとても人気がある。その理由を考えて見れば安定的で、退勤時間も早いし、夏休みと冬休みもあるし、結婚の後、子供を育てるには最高の条件ではないかだと思う。そのためか韓国では先生になることは本当に難しい。毎年試験の競争率は最高を記録しているし、0.5点差で試験から落ちる場合も多い。特に人気

がない科目や英語を除いた言語科目は先生を採用しない地域もある。

人たちは先生という職業の長所だけ見て先生になろうと思うのではないか。私もそうではないか。会社までやめてこのようになりにくいという先生がどうしてなろうとするか考えて見る。また先生に関していろんなことも考えて見る。

## 2. A さんとの対話

誰と対話すると気楽でまじめな対話ができるかずっと思ったけれども、誰と対話するか決めることが本当に難しかった。思った終わりに同じな目標を持っている人なら対話の進むことがよくできると思って先生になろうとする人たちに頼んだ。私が教育大学院に初めて入学した時、大きくて安定的な会社で勤めながら夜には先生になろうと学校で勉強する年上の学生たちを見た時、どうして大変な勉強をまた始めることだろうという疑問ができたことが思い出して、その人たちと対話したら面白そうで頼んだが、時間も合わなかったし、年下な私に自分の夢に対してまじめに話すのが恥ずかしくて正直になることができないようだといわれた。仕方なく私より年下で同じ教育大学院で勉強したAさんに頼んで対話を始めるようになった。

現在Aさんは韓国にいるからネットのメッセージの音声対話プログラムを通じて対話を始めた。Aさんとは今度のはじめの対話ではなくて2回目の対話だった。対話の相手を探した時、一回対話はしたが、対話の内容が雑談のように流れて得たことが一つもなかった。その時Aさんがこんな対話したこともないし、自分の夢についてもまじめに考えたことがなくてどんなに答えるかよく分からないからちゃんと考えて来るから時間をくださいと言った。その後、11月23日と12月14日、2回にかけて対話をした。

### 2-1 先生になろうとする理由

A：私がどうして先生になろうとするのか考えて見たんです。私、田舎で生まれて育ったんです。学生数があまりない小さな学校でした。学生の時一学期に一度ある教室美化をするんですね。その時先生と学生たちが一緒に教室をきれいにしました。一緒に美化をしながら先生は自分の学生がいて自分の教室があるから本当にいいなと思ったことがあります。私も大人になったら私の教室と私の学生たちがほしいと思ったようです。

私：私の学生と教室？ 教える先生よりは一緒に生活する先生だね。

A：はい。勉強もしながら子供たちに良い思い出をたくさん作ってくれる人になりたいです。

お姉さんは？

私：うん、「学生時代、先生に影響を受けて歌手や俳優をしています。」「その先生に会いたいです。」という番組があるんじゃないの？そんな番組を見た時、ある人の人生に影響

を与えるなんてすごいなと思ったことがある。私もそんな人になりたくて先生になろうと思うかも知れない。

A : そうですね。学生たちは家より学校で生活する時間が長いから友達や先生の影響をたくさん受けるしかないようですね。

私 : 正直に言えば大学を卒業して会社員になった後、退勤後の時間が惜しくて大学院に入学したが、勉強すればするほど本当の先生になりたくなかったの。また退勤時間が早いことと休みがあるのがうらやましくてなりたいなあ。

A : 私は小学校の先生になりたかったんですが、教育大学に入ることができなくて中.高等学校の先生も良いだろうと思って大学院に入って来たんです。でも機会があれば教育大学に編入して小学校の先生になりたいです。具体的に言えば私が生まれて育ったその田舎のその学校で、その教室の先生がしたいのに現実的にできないからほかの田舎の学校でも子供たちを教えたいです。入学した時から卒業するまで全校生と一緒に勉強するそんな学校です。

私 : すごいですね。田舎の先生なんて。

## 2-2 職業としての先生

A : 今度、任用試験で100点越した人がいたそうです。

私 : 筆記試験が満点で、加算点が付いた人だね。

A : そうです。本当にすごいじゃないですか？

私 : そんな話を聞いたら自信がますますいなくなるんだ。

A : はい。そうです。

私 : 日本語の先生は採用する地域も少ないし、競争率は高くなって大変だね。

A : 一所懸命に勉強したが0.5点差で惜しく落ちたら次の試験には合格できる気がするからまた試験に応ずるし、新しい受験者もいるから競争率が高くなることではないでしょうか。それでも合格さえすれば最高になるんでしょう。

私 : 何が最高か？

A : 安定的な職業で長い休みまであるし、そんなに合格しにくい人々に認められるんですよ。

私 : それでお見合い相手の1位が先生かも知れないね。夏と冬休みもいいし、それでも良い職業だけではないと思う。

A : 長所があれば短所もありますよね。

私 : 中学校3年生が担当先生を殴ったり軽い罰された学生の親が学校に来てその先生を殴ることとか教権を侵害する事件がよく起こるんですよ。

A : はい。そんな事件だけ見れば本当に先生になることは怖いですよ。教育実習の時、担当

先生が授業に寝る学生とか授業と関係ない事をする学生がいても知らない振りをするのが一番いいだとおっしゃいました。注意を与えたり罰したらケータイ電話の写真を取ってネットの掲示板に載せるとか悪口をされるとか仕返しをする学生たちがいるそうです。

私：このごろの親たちは子供を甘えん坊に育てるからですね。

もちろん100%学生の責任じゃない場合もあると思ってる。先生に人格的に無視されるとか自分がしたことがないのに罰されるとかすれば学生でも腹立つこともできると思う。

A：学生たちをどんなに對するのが一番良いのか分からないです。

そして先生たちは雑務もあまりにも多いようです。給食の日程を組むとか校内と郊外活動を計画して参加するとか公文書処理するとか教えること以外のことなどです。

私：私もそう思う。そんなに雑務が多ければ教科研究はいつするのか思ったことがあるよ。

### 2-3 理想的な先生

A：いい先生はどんな先生でしょうか？

私：入試が終わったこの時点で見れば入試パターンに詳しい先生？

多くの学生たちを名門大学に入学させる先生？

A：とても現実的な答えですね。

私：私立大学で政治外交学科で勉強したがったが、担当先生の説得でソウル大学の国語国文学科に入学した友たちがいるよ。その友たち興味がない国語国文学科に適応することができずに結局学校をやめたの。その先生、学生の適性と興味をよく考えて相談してくれたら私の友達の人生は完全に変わったかも知れないね。

A：ソウル大学を入学させることが目的ですね。営業社員みたいです。

ソウル大学 00人目標！！

お姉さんはもし任用試験に合格すればどんな先生になりたいですか？

私：任用試験に合格するそんな日が来るかな？

A：もしです。

私：～～先生になろう!と決めたことはないね。教育実習や大学院の授業を通じて多い先生たちに会ったがその中には学生たちがどのようにすれば易しく理解するかと思いながら教材研究する人もいるし、1時間くらいの授業は適当にする人もいるよ。ある先生のように学生たちに合う教科書を直接作ったり授業環境の改善のためになにかすることはできないが少なくとも学生たちをお金だとは思わないと思ってるよ。

A：そうですね。

それで私は塾の先生はなりたくないです。

有名なTOEIC講師や入試講師はお金もたくさん稼ぐんじゃないでしょうか。

それでは学生一つ一つがお金と見えるようで嫌いです。

私スター講師になることができる能力もないけれども、

子供たちをよく教える先生になりたいです。

知識だけではなくすべての面で尊敬される先生。

私：先生は専攻知識はどのくらいがいいと思う。

A：100%が一番いいでしょう。しかしそれは人間的にできないですよ。

特に日本文化みたいなのはネットやドラマ、アニメを通じて学生たちが先生よりもっと詳しい場合が多いからですよ。

私：質問された時、「知らない」と答えたら学生に無視されるんですよ。

「あの先生これも知らないって」

わざと難しい質問をする学生たちもいるんじゃない？私のように、

A：そんなことありましたか？

知らないって答えだけしたら無視されるかもしれないが、もっと知ろうと努力する姿勢を学生たちに見せてくれないかならないと思います。

私：私、高校3年生の時、国史先生に罰っされたのが悔しくて本当に難しい質問を研究して質問したことがあったの。

A：本当ですか？

それでは何を思いながらそんな質問をしたのか考えて見れば対処方法が思い出しますよね。

私：そうか。

A：先生が良いことだけではないですね。

私：もし私が先生になったら私のような学生に会ったらどうしよう。

それが本当に怖いですよ。

A：そうだよ。ちょっと優しい学生なら良かったでしょう。

私：反省します。

### 3. 結論

安定的な職業だから先生になろうと思うという答えが出ると予想したが以外の答えなので少し驚いた。私の学生たちを卒業する最後まで責任を持って教えたいという彼女が少し格好よく見えた。

ヨーロッパのある国は一度担当先生になったら学生たちがその学校を卒業する最後まで担当すると言われたことがある。それに比べて韓国は毎年、担当先生と友達が変わる。新しい学期

になれば新しい担当先生と相談しなければならないのに貧乏とか親が離婚をしたとかする問題を持っている学生は隠したいものを毎年新しい先生に繰り返して言わなければならない。その学生たちには新しい学期の始まるのが本当にいやでストレスかもしれない。前の担当先生と新しい担当先生の間で学生たちの情報がよく伝達したらこんな事がなくてもいいが韓国の教育現実はそうではないことが多い。それで彼女は田舎の先生になりたいかも知れない。

教育実習の時、先生は学生の幸せのため、国の発展に貢献することができる人才を育成しようとする信念を持っている者でこそできる職業で、教師になりたいければ学生たちのために学生たちの幸せのために誤った教育制度を直すことに先に立たなければならないというそんな心得で教職に入って来なければならないと教頭先生がおっしゃったことが思い出した。また我が国の先生の中にこんな努力をする人が多かったら韓国の学生たちがこんなに苦しく勉強しなくても良かったのに、、、30年以上教壇に立っている自分自身もそのように思っているのか疑問の起こる時が多いとおっしゃった。

私は安定的な職業で普通の会社員にはない長い休みがある先生を目標にしている。でももし先生になったら本当に学生のためな先生もなりたい。私がもし先生になってもマンネリズムにはまて教科研究はしないまま自分の人生だけ大事にする先生になるかも知れない。また私は教頭先生がおっしゃった先生としての持たなければならない心得と信念を持っていない。その心がどんな心なのかよく分かることもできない。しかし少なくとも理解して見ようとする努力は必要だと思う。どうして私が先生になろうと思うのかどうして先生になりたなのかを思ったらもっと楽しくて面白い気持ちで勉強ができると思う。

## 5. 終わりに

対話活動をする前は私が何故先生になろうとするか考えた事もないし、過去にも先生とはぜんぜん関係がなかったと思った。ただ退勤の後の時間に何でもしようと思って教育大学院に入ったし、一応勉強を始めたから流れ次第にここまで来たと思った。先生になるために日本語の勉強をしているか、日本語の勉強をしているから背院生になろうとするかを考えさせた活動だった。

韓国語でした対話を日本語で翻訳するのが一番難しかった。日本語の実力も実力だが、対話した時の気持ちとか雰囲気伝わることができなかったのが残念だったと思った。

まだ日本語の実力がそんなに高くないから他人の対話活動を読んで流れがいいか悪いか、オリジナルティがあるかなど評価することも私においてはすごく大変だった。でも読みながらすごく共感できるのもあったし、対話活動も初めだったし、相互評価も初めだったからちょっと難しい点も多かった。相互評価する時には私のレポートについてどんな意見があるか緊張もしたがそれもそれなりに面白かった。

2009.01.29

今度私が書いたレポートは良いレポートではなかったが私にとっては良い活動だったと思う。  
初めて関心があることに関してに考えて対話して、それを評価する自体がすごくよかった。